

## 偽通販サイトの見破り方

【問】SNS（交流サイト）の広告からブランドのシャツを注文した。代引きで受け取ったが、明らかに粗悪品で偽物だった。注文したサイトに何度も連絡しているが、全く返信がない。おかしいと思いネット検索してみると、「偽サイトなので注意」との評価が出ていた。（50歳代男性）

### ～支払い方法などが限定～

【答】スマホやパソコンを使えば、いつでもどこからでも商品が手軽に購入できるインターネット通販。コロナ禍で、その利用は増加しています。利便性が高い反面、「ネット通販で騙（だま）された」という相談が多く寄せられています。

事例のように大手SNSなどに出てきた広告から誘導されたケースも多く、衣料品以外にも家電製品や家具、家庭雑貨など、商品は多岐にわたっています。

トラブルにあわないためには、サイトの見極めが重要になってきます。偽サイトは、公式サイトの画像や文章を盗用しているため、まるで公式サイトとそっくりに作られており、一見しただけでは、偽サイトと気付くことは困難です。すぐに注文せず、サイトの隅々まで確認したうえで、利用するようにしましょう。

偽通販サイトの特徴としては、次のような点が挙げられます。

#### ①事業者の所在地、電話番号の記載がない。

通信販売では、事業者の氏名または名称、住所、電話番号の記載が法律で義務付けられています。しかし、偽サイトでは、これらの記載がなかったり、項目が漏れたりして不完全なケースが多くみられます。たとえ住所や電話番号の記載があったとしても、実在しない番地であったり、つながらない電話番号である例もあります。また、公式サイトの会社情報をそのまま転記しているサイトもあるので注意が必要です。

②事業者への連絡方法がメールのみで、問い合わせフォームのみであったり、メールアドレスがフリーメールのみである。

#### ③URLが正規のサイトと少し異なる。

似たようなURLにしていますが、よく確認すると若干の違いがあります。

#### ④商品の価格が格安である。

格安の商品価格を表示し、消費者を誘い込むという手口は、偽サイトの典型的な手口です。

#### ⑤支払方法が選べない。

偽サイトでは、支払い方法は、銀行振り込みや代引き配達に限定されていることがほとんどです。ただし、まれにクレジットカードが使える場合もあるので注意してください。

そのほかの特徴として、日本語表記がおかしい、サイト内のリンクが適切に機能しない—などにも留意しましょう。また、サイトの中には、クレジットカードの情報や電話番号、住所、生年月日といった個人情報盗む目的のものがああります。

インターネット通販利用時には、これらのポイントを確認して、偽サイトの可能性が高い場合は、その

サイトでの購入をしないことが賢明です。

### 筆者ひとこと

トラブルにあわないためには、注文する前に偽サイトだと気付くことが大切です。信頼できるサイトであるかどうか、慎重に見極めましょう。少しでも分からないことや不安なことがあれば、最寄りの消費生活センターにご相談ください。

(県消費生活センター)